

オリックス株式会社

2018年3月期 決算説明資料

取締役兼代表執行役社長 グループCEO

井上 亮

取締役兼代表執行役副社長

小島 一雄

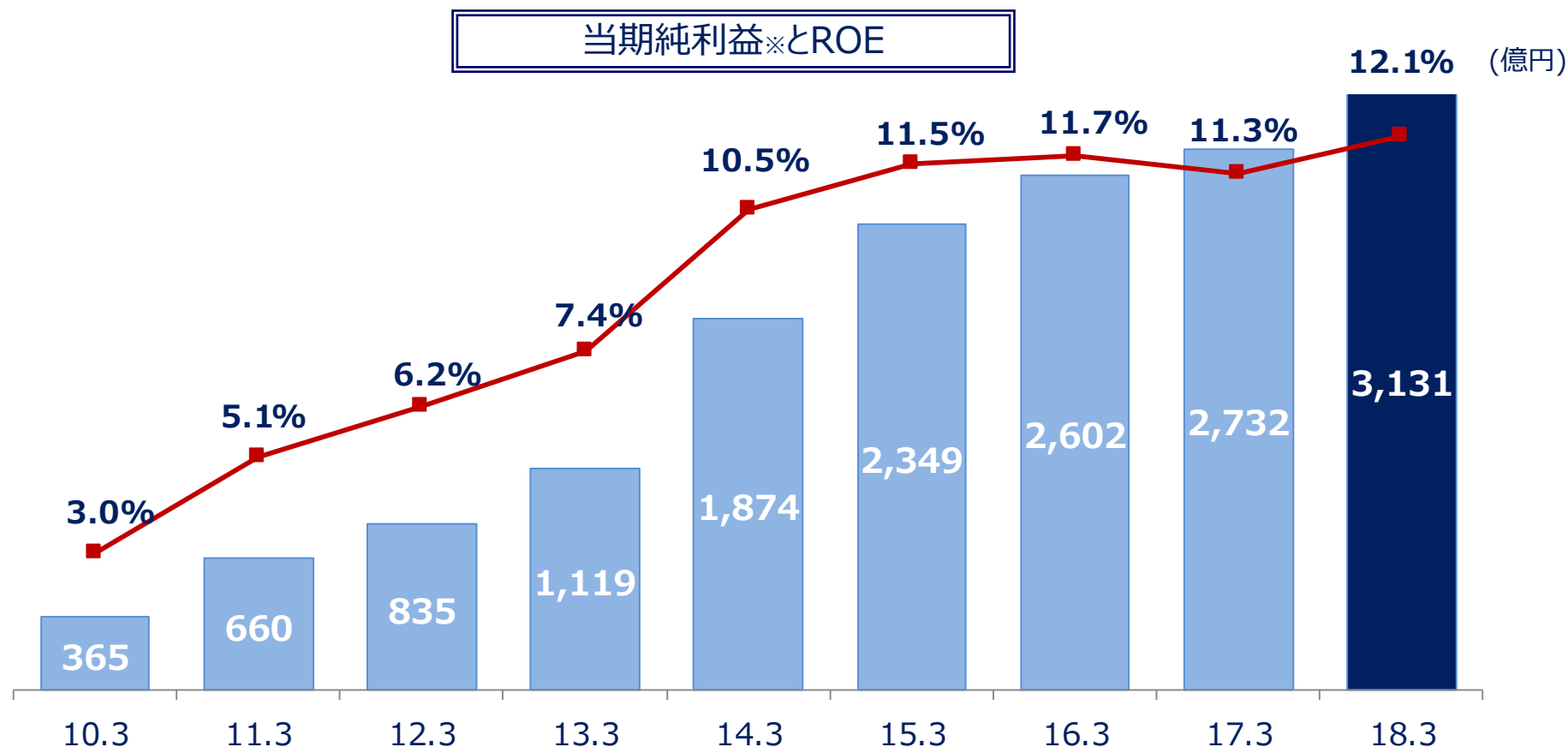
執行役 経本部長

矢野 人磨呂

2018年5月10日

2018年3月期 業績総括（1）

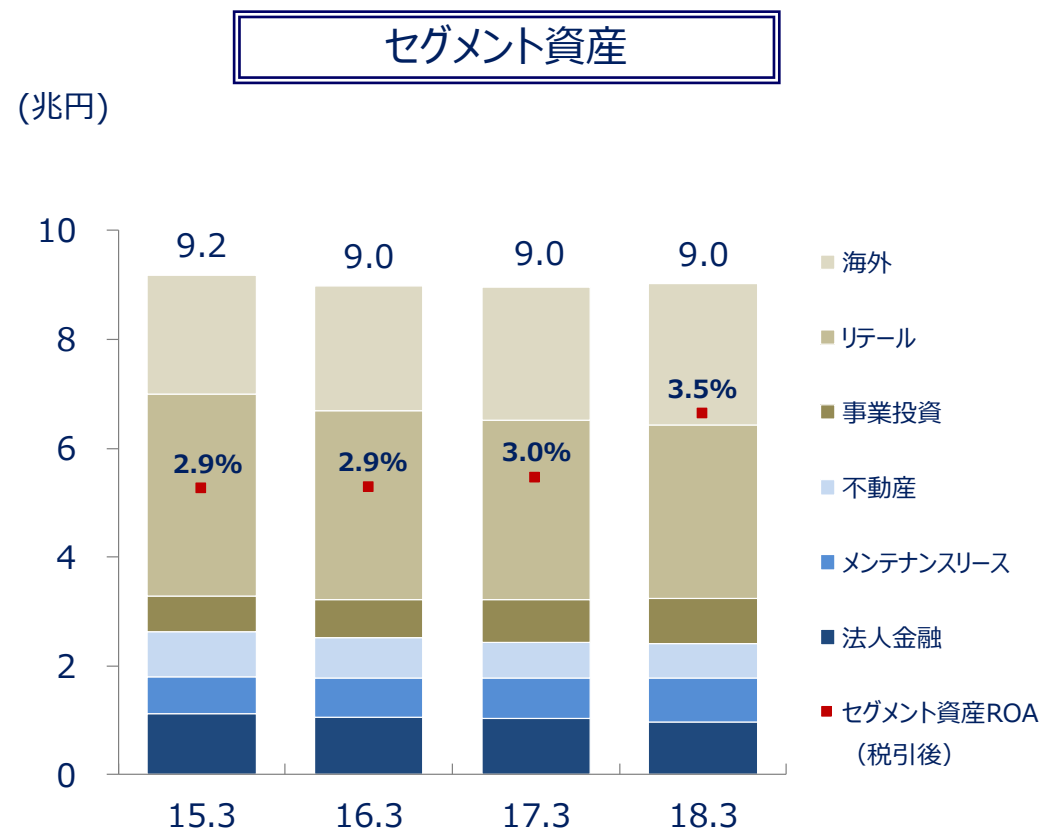
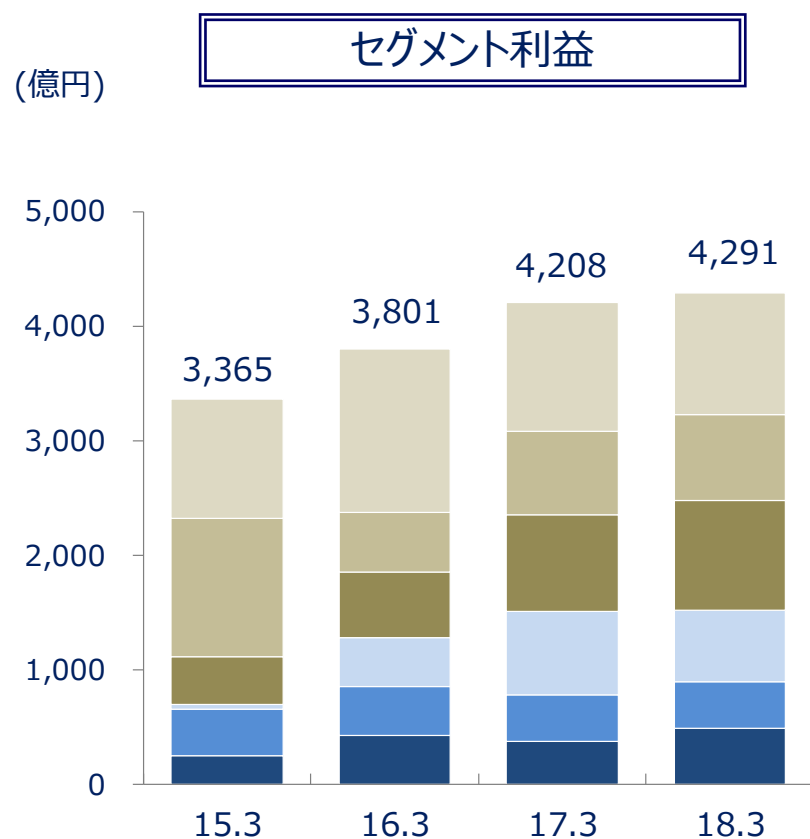
- ✓ 当期純利益は 3,131億円（前期比15%増）
- ✓ 4期連続の過去最高益更新、9期連続の増益を達成
- ✓ ROEは12.1%



※「当期純利益」は「当社株主に帰属する当期純利益」を指します。

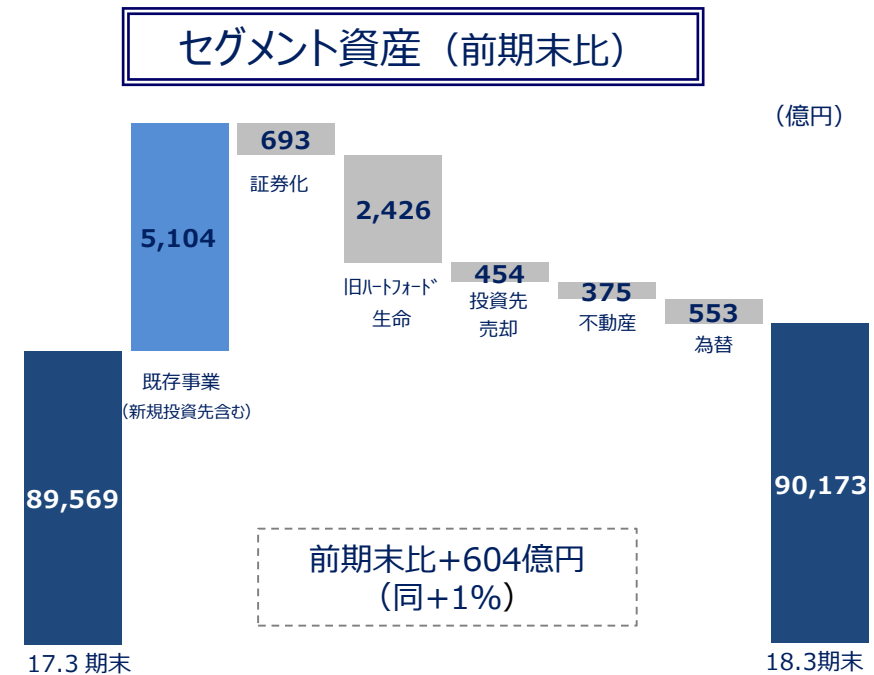
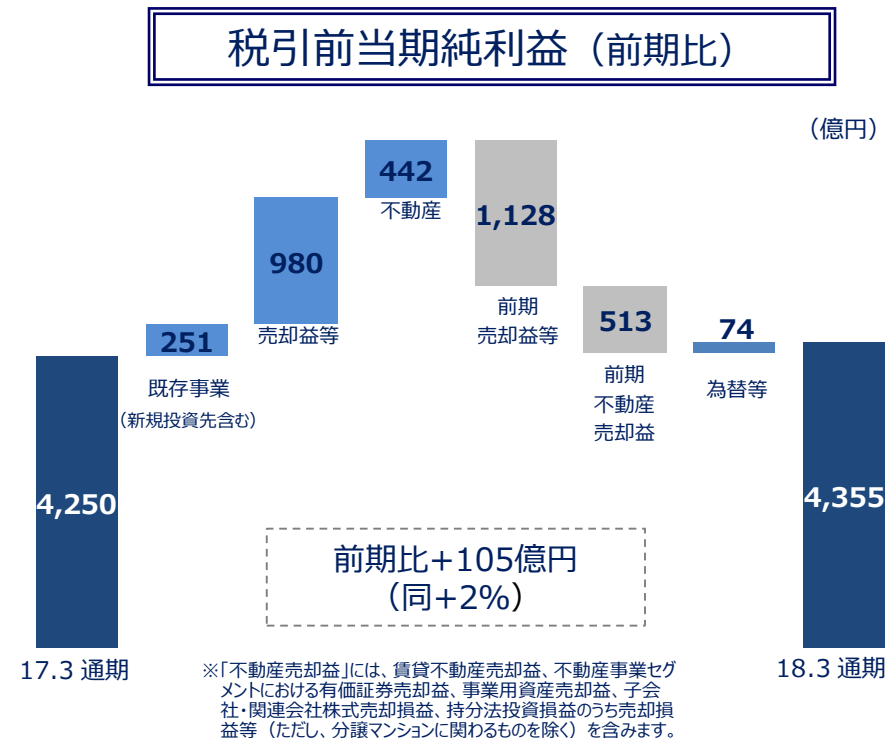
2018年3月期 業績総括（2）

- ✓ セグメント利益合計は、4,291億円（前期比2%増）
- ✓ セグメント資産合計は、9兆173億円（前期比横ばい）



2018年3月期 業績総括（3）

- 税引前当期純利益：前期比 +105億円（+2%）
 - ✓ 航空機・船舶、コンセッション、アセットマネジメント、環境エネルギー等が既存事業の増加に寄与
 - ✓ 売却益は前期比で減少
- セグメント資産：前期末比 +604億円（+1%）
 - ✓ 既存事業の増加は、航空機・船舶、環境エネルギー、銀行等

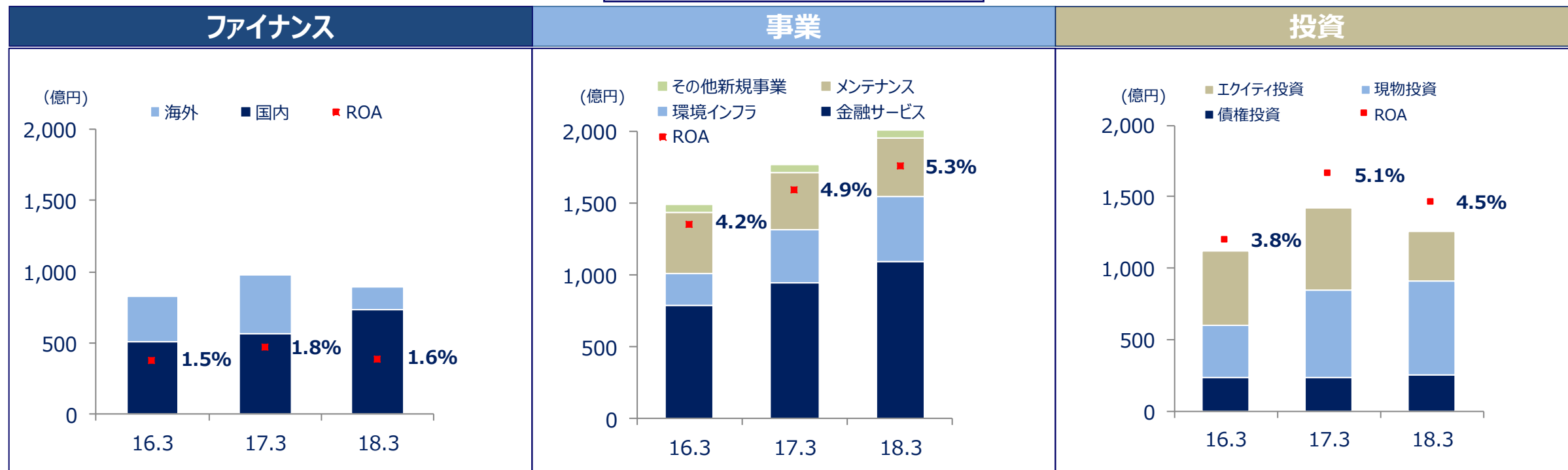


ポートフォリオの3分類で見る実績

3分類の詳細はP.43をご覧ください

- ファイナンス：国内は堅調な銀行事業や有価証券売却により増益、海外は現地法人の株式売却損等を計上
- 事業：金融サービスは海外アセットマネジメントや国内の不動産アセットマネジメントが好調、環境インフラも引き続き堅調
- 投資：エクイティ投資は前期の大口売却益の反動減等により減益、航空機・船舶事業や債権投資は増益

セグメント利益（3分類）



(注1) 16.3の「事業」には、フリーハンIPOに伴う売却益・評価益（約396億円）と旧ハートフォード生命関連の期中の損益は含まれておりません。

(注2) 17.3の「事業」には、旧ハートフォード生命関連の期中の損益は含まれておりません。

(注3) 18.3の「事業」には、フリーハン株式の売却益と旧ハートフォード生命関連の期中の損益は含まれておりません。

中期的な方向性の振り返り



✓ 2015年に公表した18.3期の経営目標は全て達成

	15.3期 実績	18.3期 目標	18.3期 実績	評価
当期純利益	2,349億円	3,000億円	3,131億円	達成
資本効率 (ROE)	11.5%	11~12%	12.1%	達成
信用格付け	R&I（長期） A+（安定的） S&P（長期） A-（ネガティブ） Fitch（長期） A-（安定的） Moody's（長期） Baa1（安定的）	A格	R&I（長期） A+（安定的） S&P（長期） A-（安定的） Fitch（長期） A-（安定的） Moody's（長期） A3（安定的）※	達成

※2018年4月16日付

2018年3月期 新規投資実績

- ✓ 「事業」「投資」での新規投資額は2018年3月期累計で約7,400億円（2017年3月期は通期で約6,000億円）
- ✓ 資産の入れ替えも順調に進める

事業	環境・インフラ 1,200億円	環境エネルギーは、国内での事業拡大とともに、海外での投資も進展 海外：地熱発電事業（Ormat Technologies）の新規投資 国内：メガソーラー等への追加投資、発電所建設
	金融サービス、 メンテナンスリース 1,300億円	- 米州での新規投資、ローン組成・サービシング会社（Lancaster Pollard）の買収含む - 受変電設備レンタルの国内最大手 淀川変圧器を買収
投資	債権投資 1,400億円	主に米州において地方債やCMBSに投資
	現物投資 3,100億円	- 航空機68機購入（JV含む）、船舶担保ローンに投資 - 物流施設等への新規投資
	エクイティ投資 400億円	社会のニーズの変化に伴い、新たな事業機会が見込める分野に注力 国内：情報処理サービス事業 米州：道路関連事業 アジア・中華圏：配車サービス事業、フィンテック事業

中期的な経営目標（2019年3月期～2021年3月期）

利益成長	当期純利益 年間成長率4～8%
資本効率	ROE 11% 以上
健全性	信用格付A格
グローバル企業としてのERM強化	

株主還元の方針

- ・ 配当性向は27%
- ・ 自社株買いを機動的な株主還元として位置付ける

（2017年10月31日公表）

「事業」において今後の成長を見込む分野

- ✓ 新規投資やM&Aを通じてポートフォリオの拡大を目指す

事業

環境エネルギー

- 国内メガソーラー順次稼働、自社電源の活用を推進
- 海外の投資機会も積極的に発掘

アセットマネジメント

- ビジネスラインの多様化、地理的な拡大を進める
- 日本での不動産AM事業順調、AUMの拡大を模索

コンセッション

- 空港運営以外のコンセッションにも挑戦
- 海外の案件も含め、幅広くチャンスを狙う

生命保険

- 販売チャネルや商品を拡充させ、次のステージへ

「投資」において今後の成長を見込む分野

- ✓ 案件ごとの最適な調達手段、取り組みスキームを採用し、資産拡大を図っていく

投資

PE投資

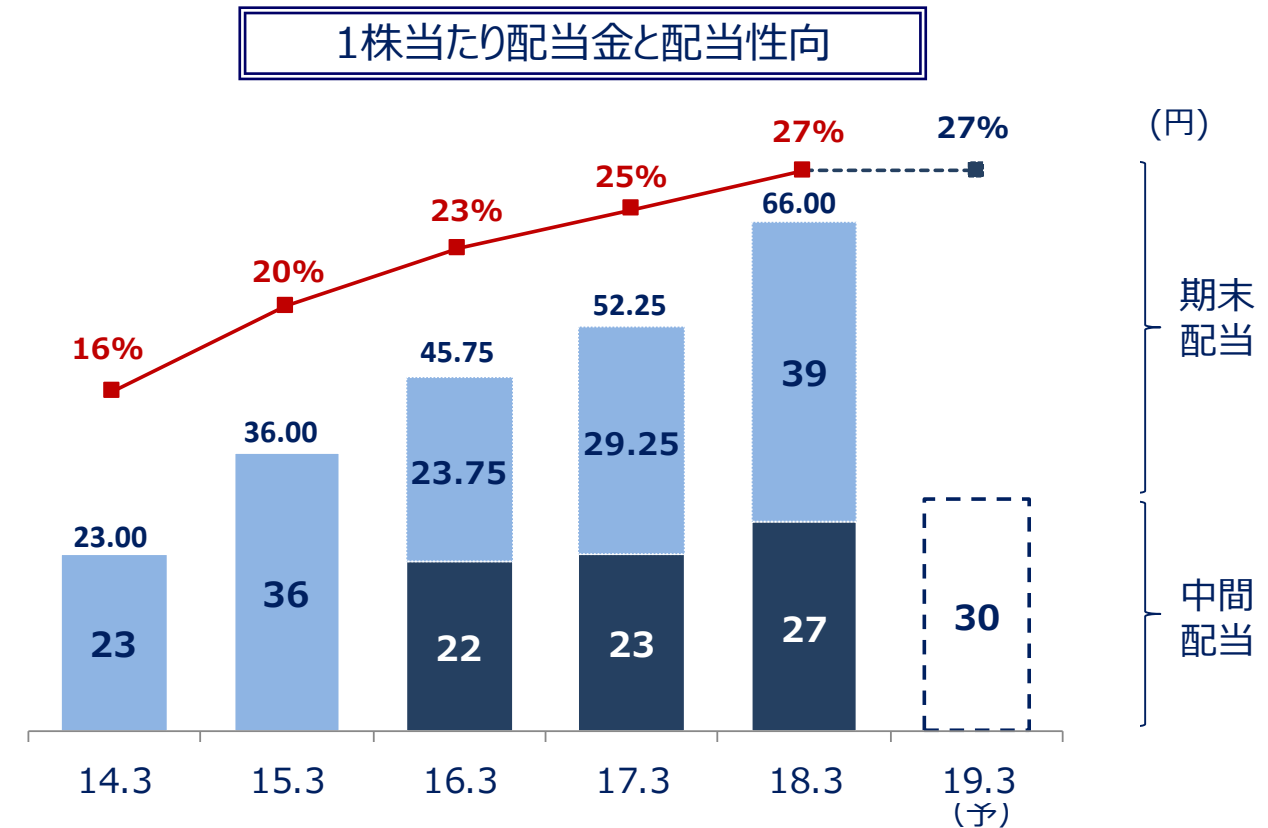
- 既存投資先のバリューアップを継続
- 米州やアジアでの投資を積極的に推進

航空機・船舶

- 多様な収益源を確保
- 引き続き、積極的な対応をしていく

オリックスが関与することで、資産や投資先の企業価値を最大限高める

- ✓ 2018年3月期の配当性向は27%、通期の配当額は1株あたり66円（前期比26%増）
- ✓ 2019年3月期の中間配当予想額は30円、利益成長により増配を図る
- ✓ 持続的な利益成長に向けた新規投資と、安定した還元との最適なバランスを考慮



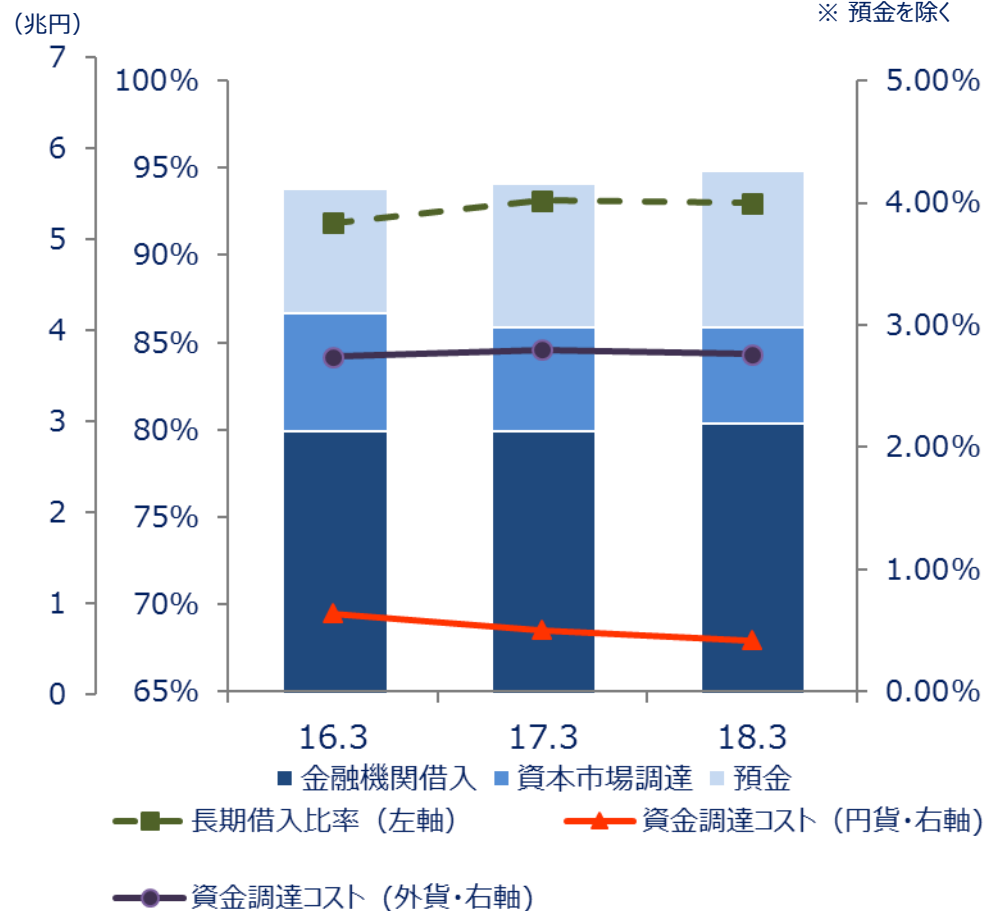
株主還元の状況 (億円)

	14.3	15.3	16.3	17.3	18.3
配当総額	301	472	600	683	846
自己株式取得 (取得年度ベース)	-	-	500億円の 自社株買い	109	391
株主還元総額	301	472	600	792	1,237
総還元性向	16%	20%	23%	29%	40%

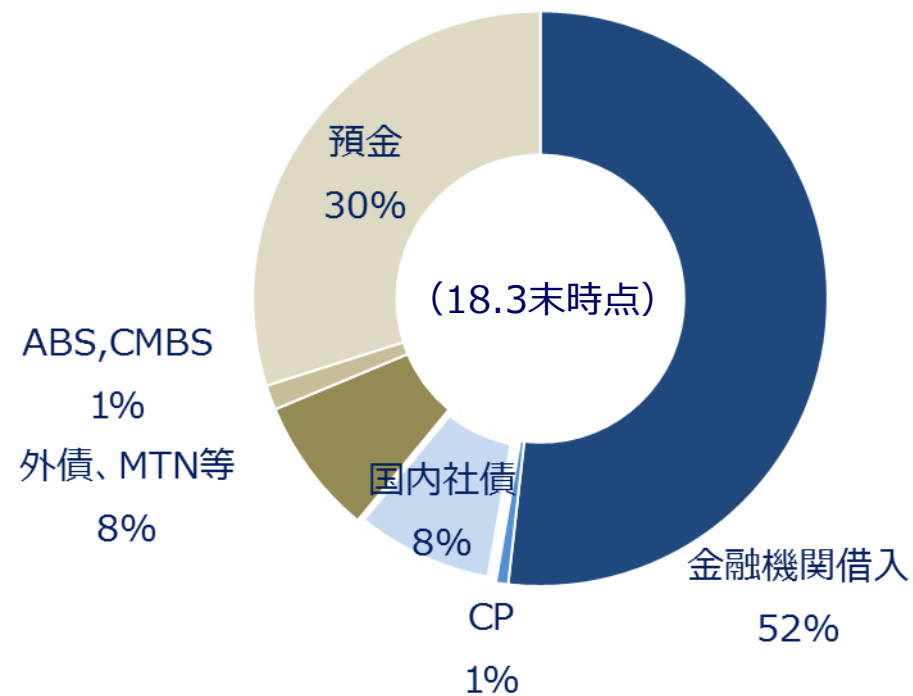
✓ 調達の長期化・安定化とコストコントロールの両方を実現

調達構造・長期借入比率（※）・コストの推移

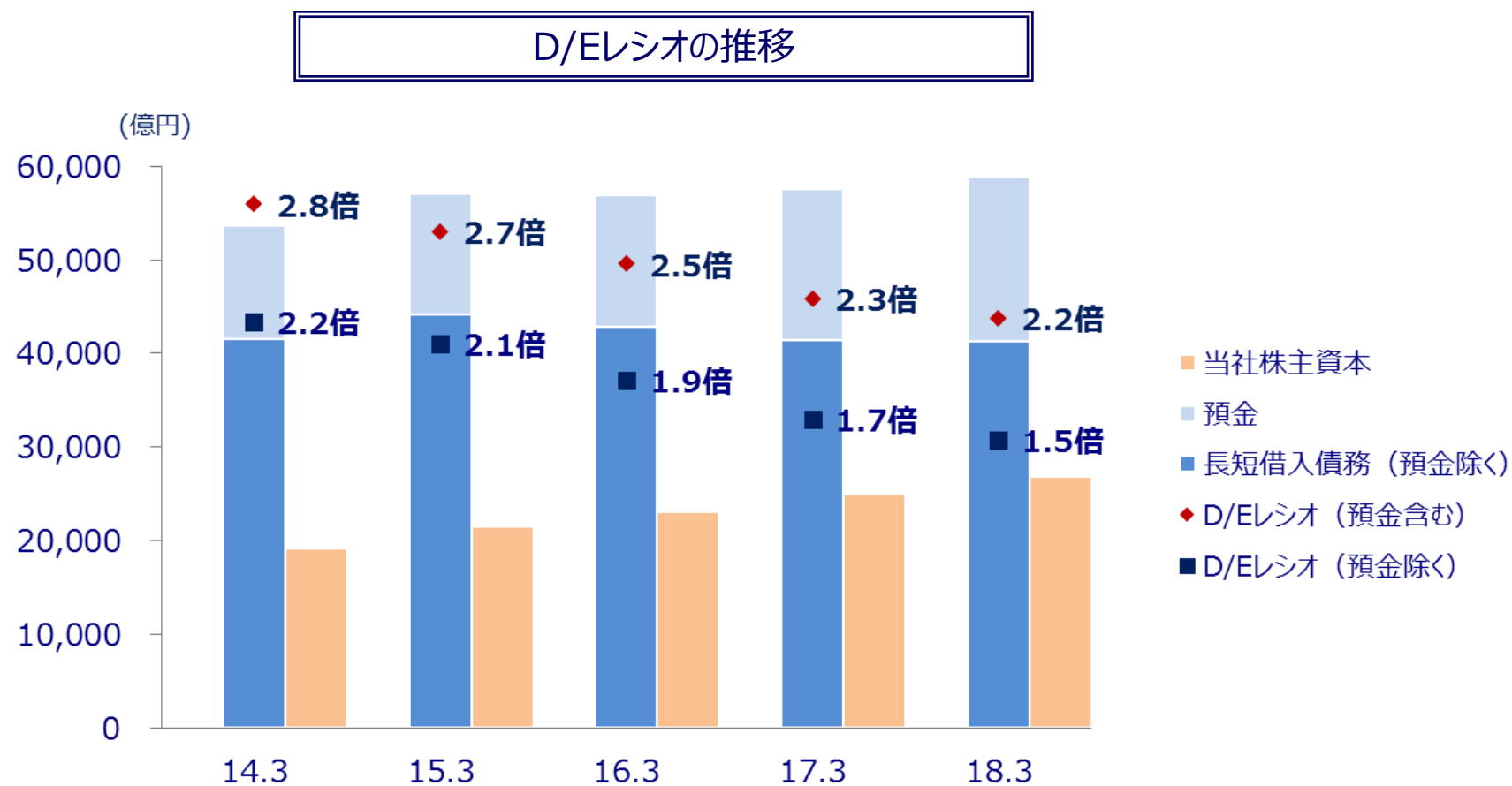
※ 預金を除く



資金調達の内訳

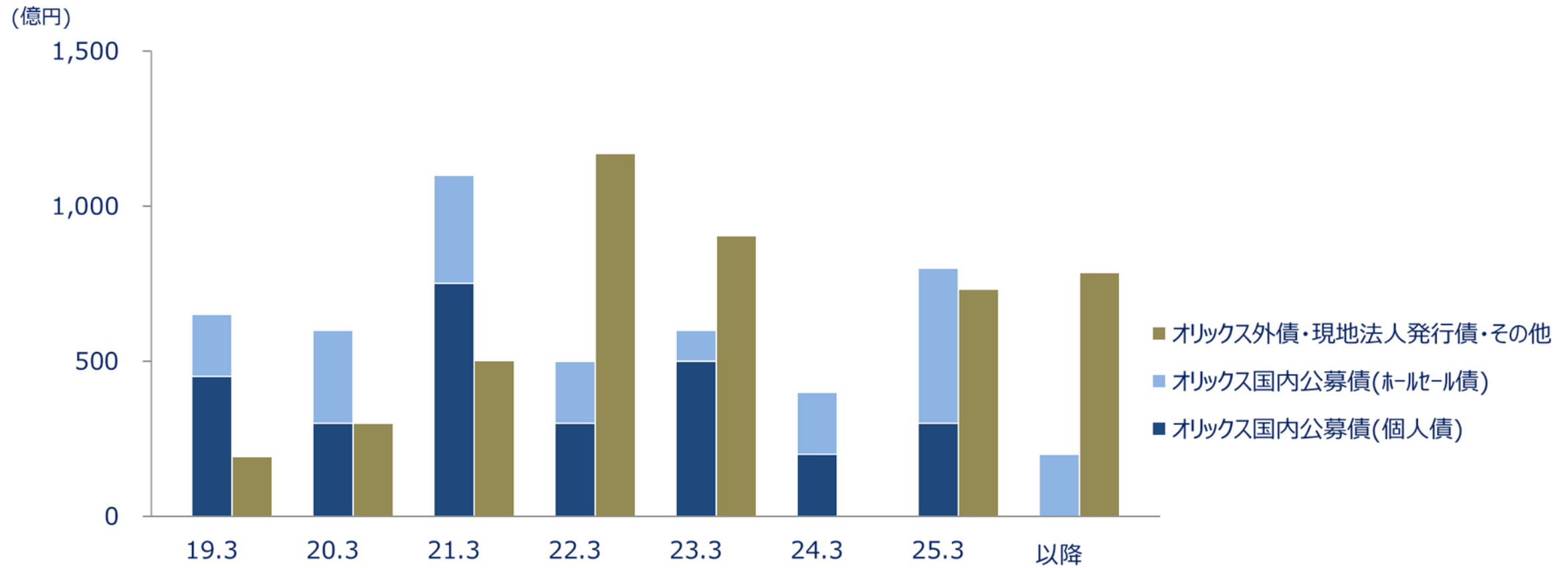


✓ D/Eレシオは低下傾向



- ✓ 償還期日の分散を通じ、各期償還額の平準化を実現

償還スケジュール（18.3末時点）



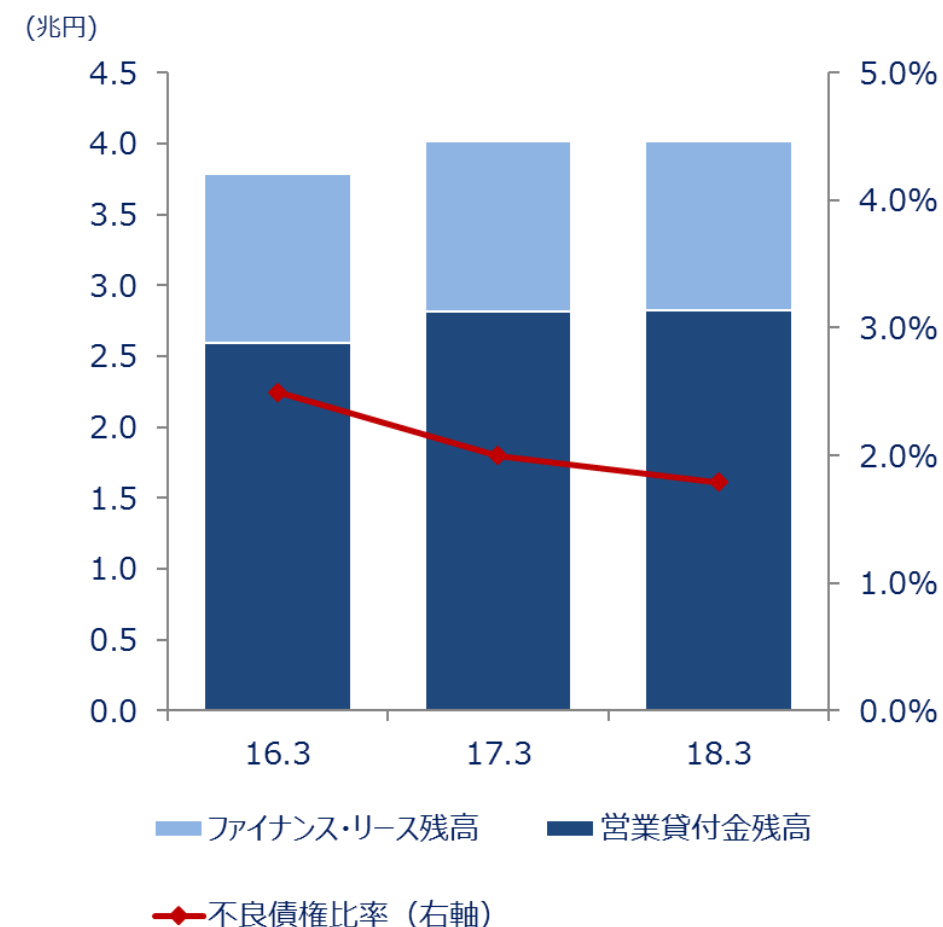
✓ 不良債権比率は引き続き低水準

個別引当対象貸付金債権額の保全率

(億円)	16.3	17.3	18.3
個別引当対象貸付金債権額 (a)	736	590	471
回収見込額	511	390	* 328
不動産担保等で保全されている額	406	316	272
保全額 (b)	631	517	416
不動産担保等で保全されている額	406	316	272
貸倒引当金残高（個別引当）	225	201	143
保全率 (b)/(a)	85.8%	87.5%	88.2%

* 個別引当対象貸付金債権額のうち不動産担保等で保全されている債権額(272億円)、およびキャッシュフロー等の担保処分以外からの回収を見込む債権額（56億円）の合計

不良債権比率の推移



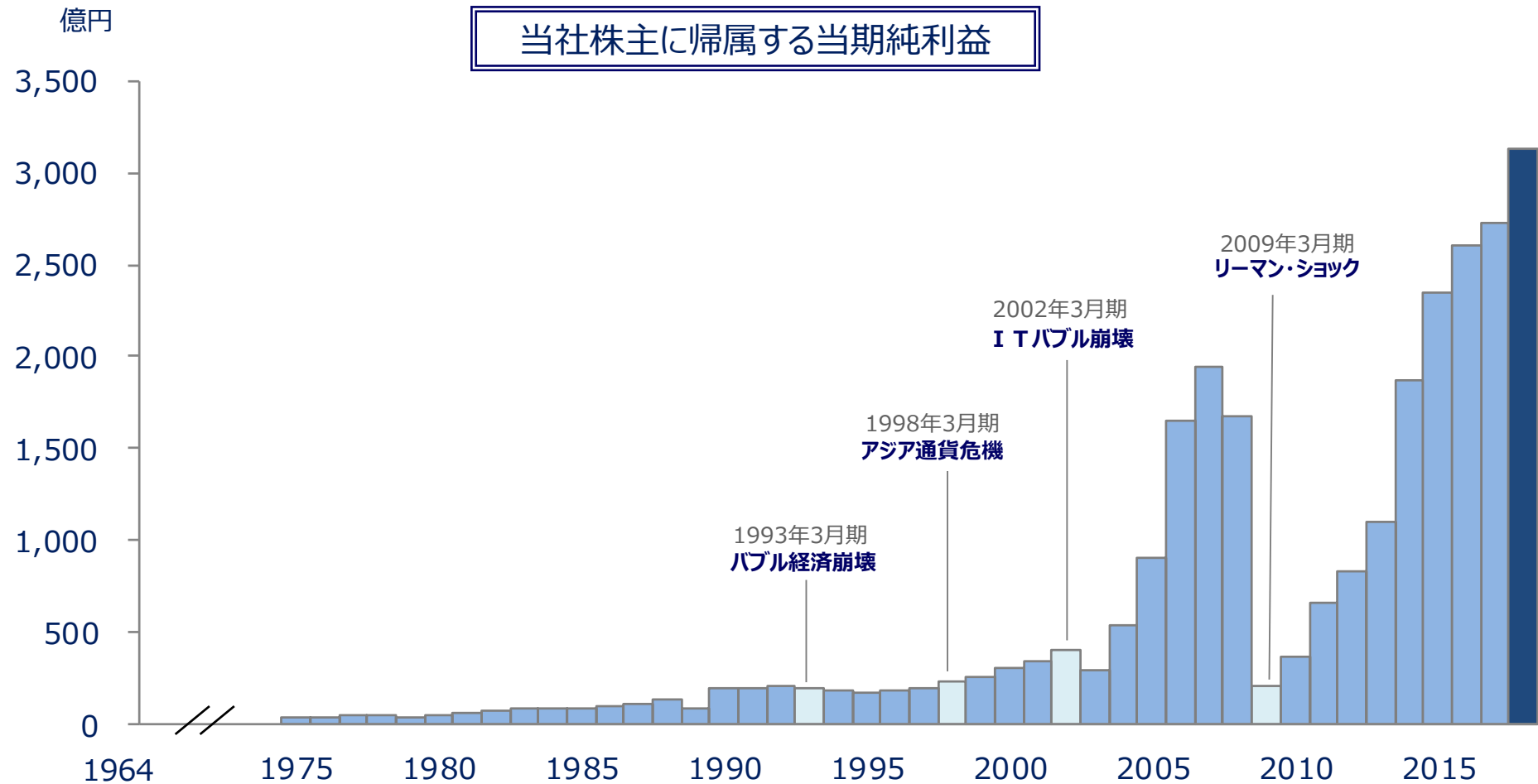
**18.3期の当期純利益は3,131億円、前期比15%増益
過去最高益を4期連続で更新**

2015年に公表した3カ年計画の経営目標は全て達成

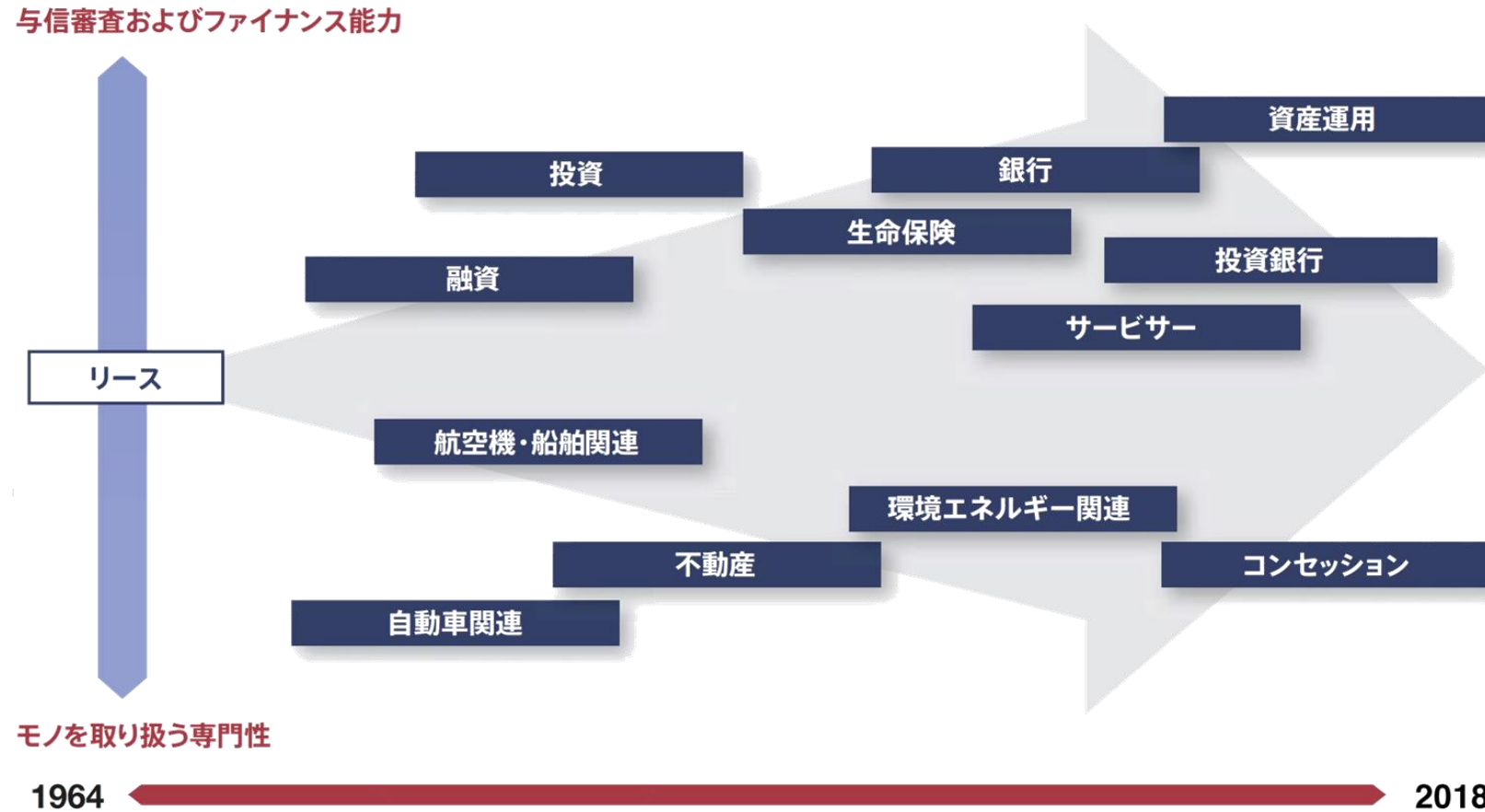
**“Multinational Boutique Enterprise”として、
強固な事業基盤を持つ会社にならっていく**

補足資料

- ✓ 設立初年度を除き、53年間毎年黒字を計上

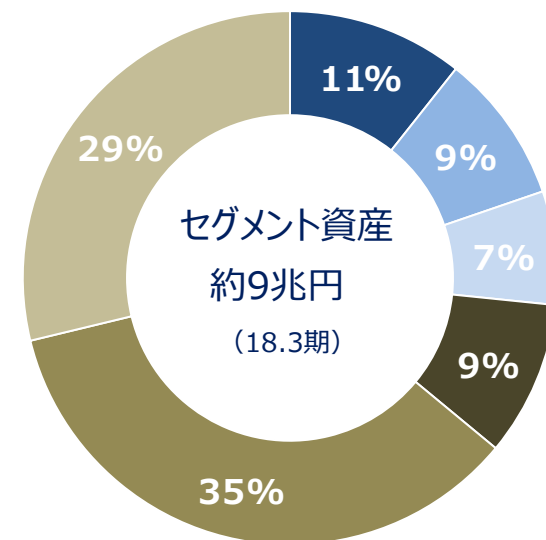
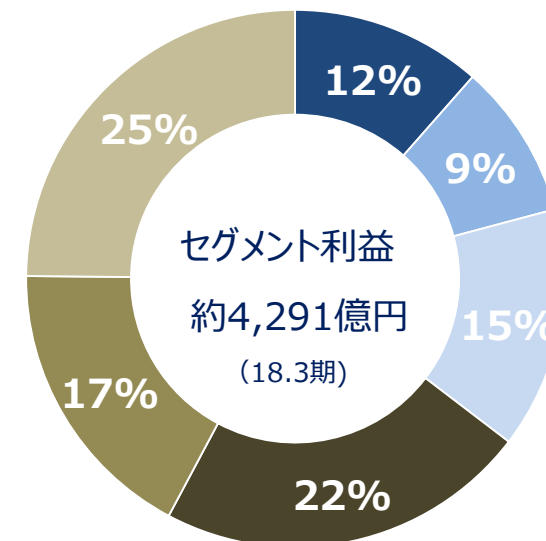


✓ 「金融」と「モノ」の専門性を高めながら、隣へ、そのまた隣へと事業展開

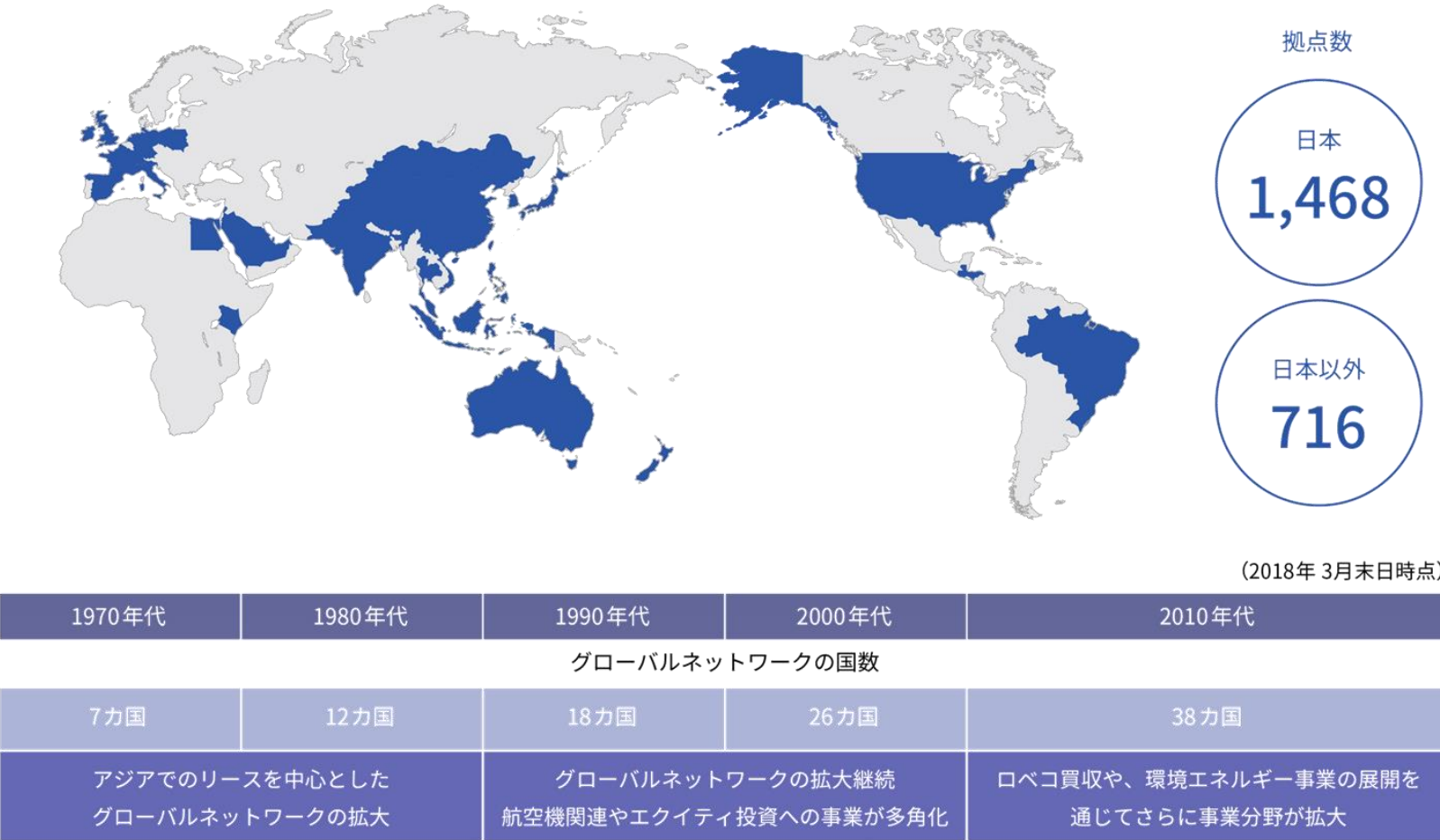


✓ それぞれの事業が独自の強みを最大限に発揮し、相乗効果を生み出している

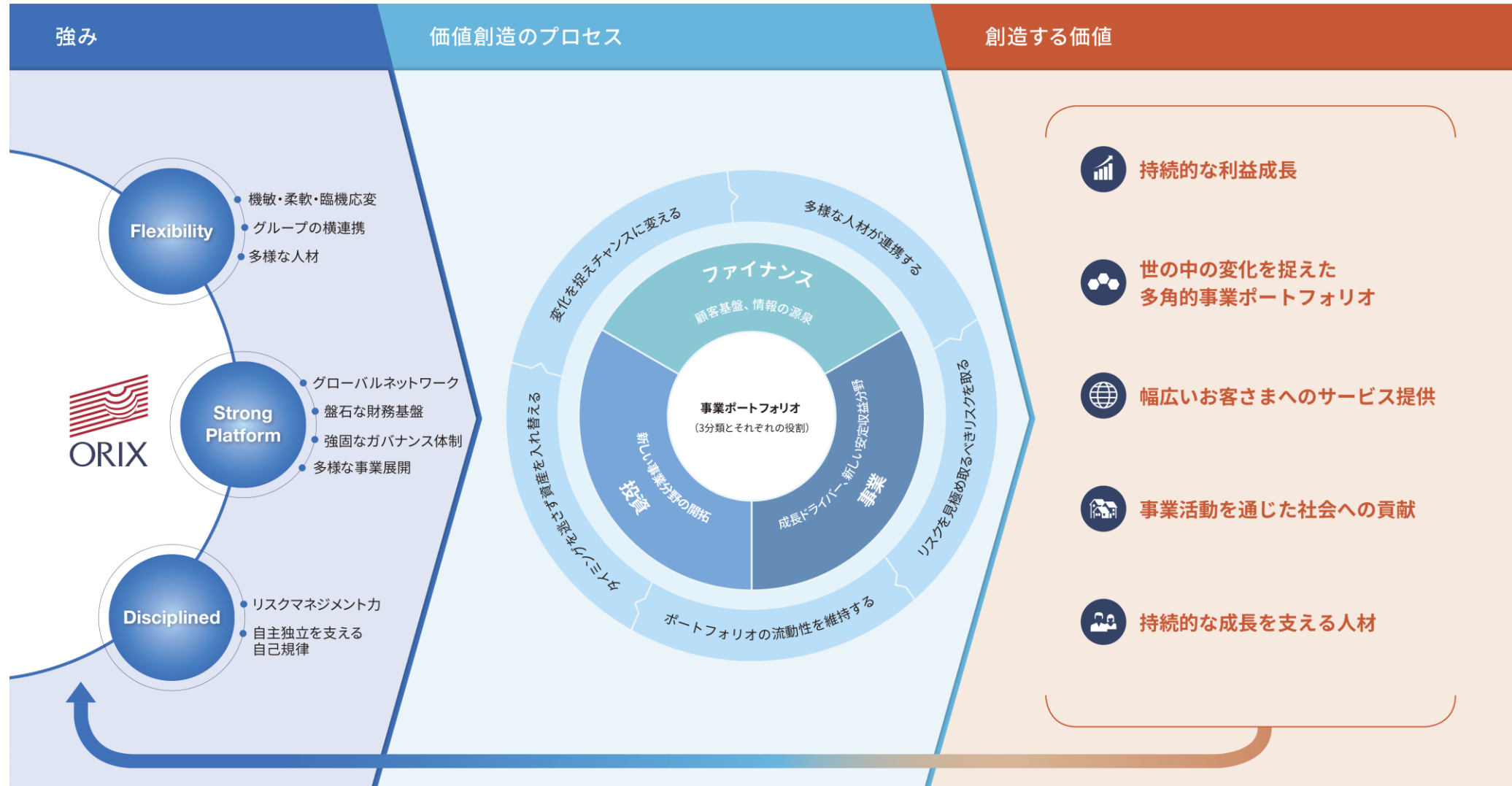
法人金融	融資、リース、各種手数料ビジネス
メンテナンスリース	自動車リース、レンタカー、カーシェアリング、 電子計測器・IT関連機器などのレンタル及びリース
不動産	不動産開発・賃貸、施設運営、不動産投資法人（REIT）の資産運用・管理、不動産投資顧問
事業投資	環境エネルギー、プリンシパル・インベストメント、サービサー（債権回収）、コンセッション
リテール	生命保険、銀行、カードローン
海外	リース、融資、債券投資、アセットマネジメント、航空機・船舶関連



✓ 国内で培ったノウハウを元にネットワークを拡大、世界38ヶ国で事業を展開



✓ 社会の変化や市場の変化を捉えて新しい価値を創造



補足資料（１）業績推移総括

（単位：億円）

	16.3期	17.3期	18.3期	前期比
営業収益	23,692	26,787	28,628	107%
当期純利益 ※1	2,602	2,732	3,131	115%
セグメント資産	89,724	89,569	90,173	101%
総資産	109,929	112,319	114,260	102%
株主資本	23,104	25,077	26,824	107%
株主資本比率	21.0%	22.3%	23.5%	1.2%
ROE	11.7%	11.3%	12.1%	0.8%
セグメント資産ROA	2.87%	3.05%	3.48%	0.43%
D/E比率				
長短借入債務および預金/株主資本	2.5倍	2.3倍	2.2倍	-0.1倍
長短借入債務/株主資本	1.9倍	1.7倍	1.5倍	-0.2倍

※ 1 当社株主に帰属する当期純利益

(単位：億円)

	16.3期	17.3期	18.3期	前期比
法人金融サービス	424	380	493	130%
メンテナンスリース	429	398	402	101%
不動産	429	728	624	86%
事業投資	572	850	961	113%
リテール	518	729	745	102%
海外	1,429	1,123	1,066	95%
セグメント利益合計	3,801	4,208	4,291	102%

(単位：億円)

	16.3	17.3	18.3	前期末比
法人金融サービス	10,499	10,322	9,619	93%
メンテナンスリース	7,313	7,525	8,182	109%
不動産	7,396	6,577	6,202	94%
事業投資	7,042	7,687	8,477	110%
リテール	34,628	32,916	31,745	96%
海外	22,847	24,542	25,947	106%
セグメント資産合計	89,724	89,569	90,173	101%

補足資料（４） 損益の状況

（単位：億円）

	16.3期	17.3期	18.3期	前期比
金融収益	2,009	2,006	2,141	107%
有価証券売却益および受取配当金	358	303	433	143%
オペレーティング・リース収益	1,288	1,551	1,273	82%
生命保険料収入および運用益	681	958	965	101%
商品および不動産売上高	858	865	755	87%
サービス収入	2,898	2,866	3,123	109%
営業粗利益 ※1	8,092	8,549	8,691	102%
支払利息	728	729	768	105%
販売費および一般管理費	4,227	4,187	4,316	103%
貸引・減損	297	384	240	63%
その他の損益（純額）	-37	-44	4	-
営業利益	2,877	3,292	3,362	102%
持分法投資損益	457	265	501	189%
子会社・関連会社株式売却損益等	579	692	492	71%
税引前当期純利益	3,913	4,250	4,355	102%
当期純利益	2,602	2,732	3,131	115%

※1 営業収益に対応する原価・費用を控除したネットの金額

補足資料（５）財務の状況

(単位：億円)

資金調達残高	16.3	17.3	18.3	前期比
CP	1,024	501	549	48
金融機関借入	29,706	29,582	30,562	980
社債・MTN	9,381	8,851	9,401	550
預金	13,985	16,146	17,575	1,429
ABS、CMBS	2,755	2,451	821	-1,630
長短借入債務および預金	56,850	57,531	58,907	1,376
長期比率	92%	93%	93%	0%

手元流動性（銀行・生命を除く）	16.3	17.3	18.3	前期比
現金および現金等価物（①）	5,887	5,866	6,177	311
コミットメントライン未使用額（②）	3,899	3,940	3,327	-613
手元流動性（①＋②）	9,786	9,806	9,504	-302
市場性短期債務（③） ※1	3,623	2,909	1,384	-1,525
手元流動性カバー率（〔①＋②〕/③）	270%	337%	687%	350%

資金調達コスト（預金含む）	16.3期	17.3期	18.3期	前期比
円貨	0.64%	0.50%	0.42%	-0.08%
外貨	2.74%	2.80%	2.76%	-0.04%

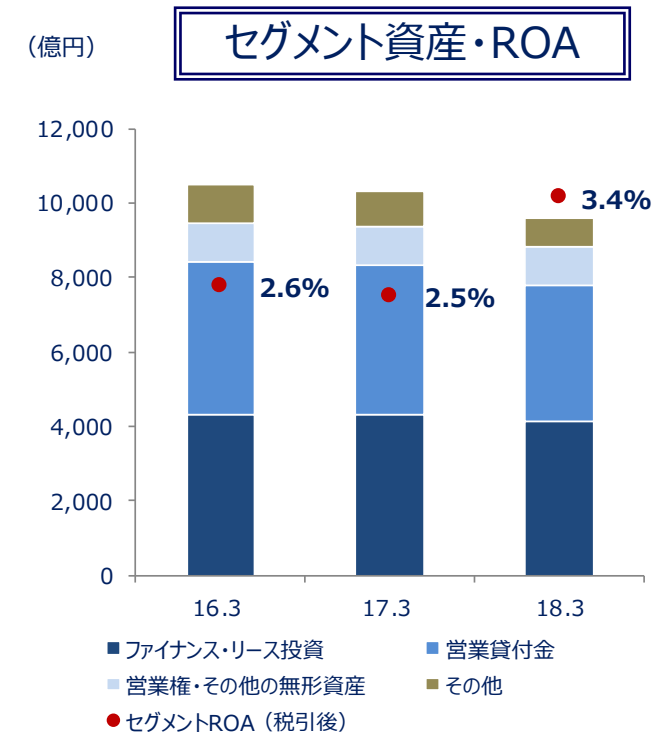
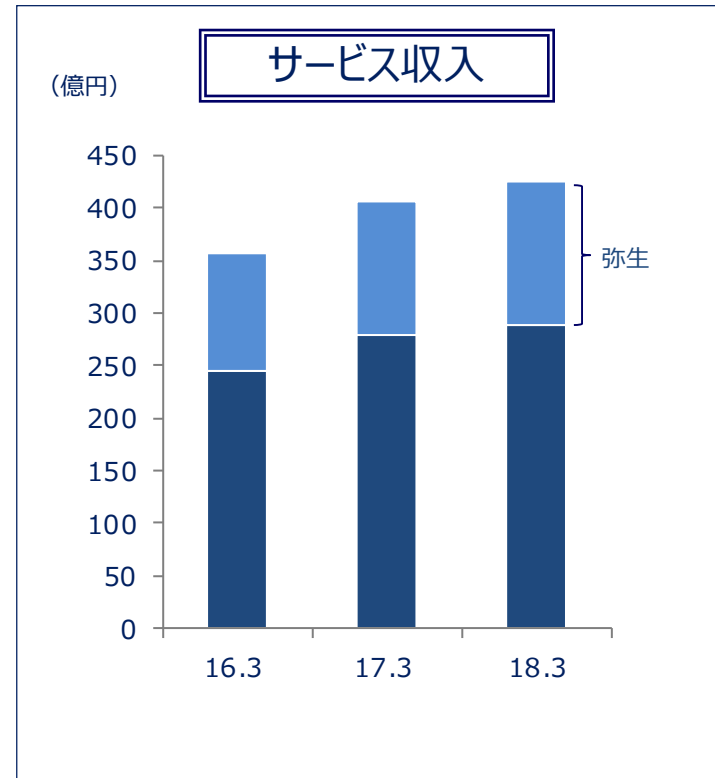
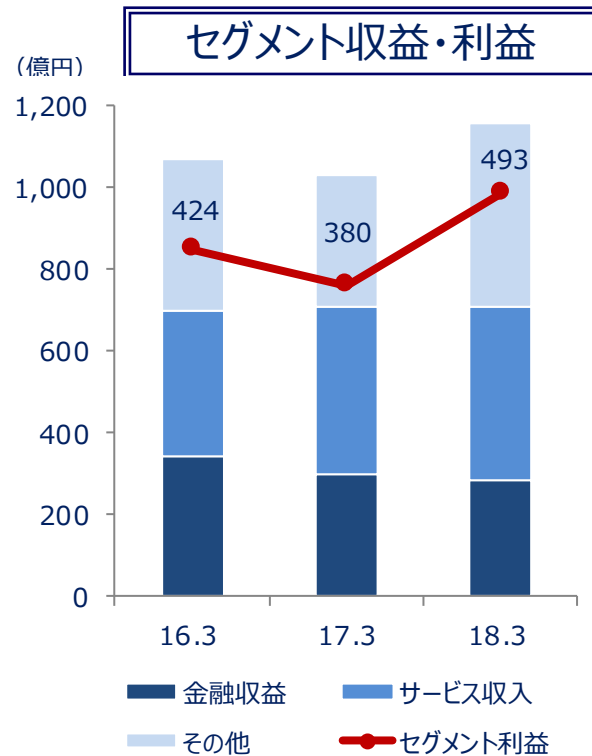
※1 1年以内に償還予定の社債・MTNと、CP残高の合計値

セグメント別業績

セグメント別業績（１）法人金融サービス

- セグメント利益：493億円 前期比 +112億円（+30%）
 - ✓ 有価証券および関連会社株式の売却益を計上
 - ✓ サービス収入が前期比で19億円増加
- セグメント資産：9,619億円 前期末比 ▲703億円（▲7%）
 - ✓ 主に営業貸付金が減少

弥生のセグメント利益貢献は64億円



セグメント別業績（１） 法人金融サービス

（単位：億円）

	16.3期	17.3期	18.3期	前期比
金融収益	342	302	284	94%
オペレーティング・リース収益	255	256	234	91%
サービス収入	357	406	425	105%
有価証券売却益および 受取配当金 他	117	66	215	325%
セグメント収益	1,072	1,030	1,157	112%
セグメント費用	655	680	687	101%
セグメント利益	424	380	493	130%

ファイナンス・リース投資	4,316	4,339	4,153
営業貸付金	4,118	3,986	3,640
セグメント資産	10,499	10,322	9,619
ROA	2.59%	2.50%	3.38%

18.3期実績

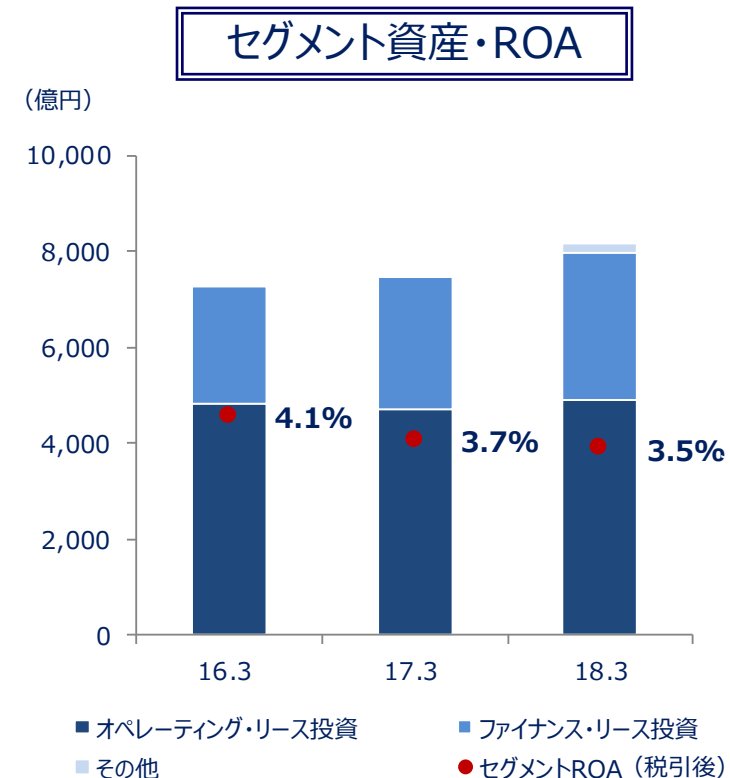
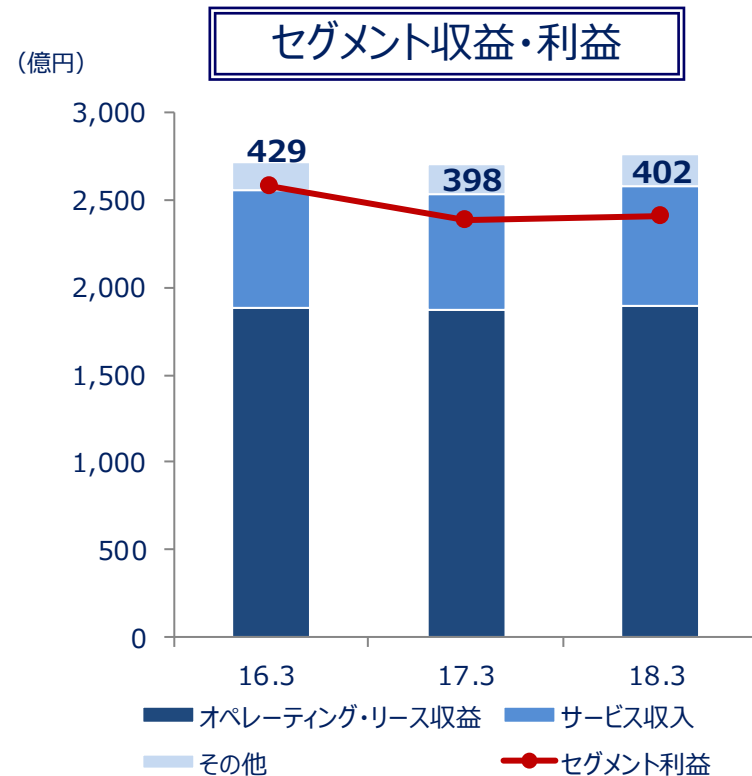
- 手数料ビジネスが安定収益に貢献
- 国産青果の全国流通網構築に着手
- 事業者向けオンラインレンディングサービスを開始

中期的な方向性

- サービス収入の源泉を多様化
- 弥生とのシナジーを最大化
- 国内ネットワークの活用による新機軸の創生

セグメント別業績（２）メンテナンスリース

- セグメント利益：402億円 前期比 +4億円（+1%）
 - ✓ 中古車売却益が減少した一方、自動車の資産増加によりリース収益は増加
- セグメント資産：8,182億円 前期末比 +657億円（+9%）
 - ✓ 自動車リースの新規実行が増加、受変電設備のレンタル事業会社を取得



セグメント別業績（２）メンテナンスリース

（単位：億円）

	16.3期	17.3期	18.3期	前期比
金融収益	121	130	141	108%
オペレーティング・リース収益	1,888	1,872	1,896	101%
サービス収入	668	663	678	102%
セグメント収益	2,717	2,706	2,757	102%
セグメント費用	2,287	2,308	2,354	102%
セグメント利益	429	398	402	101%

ファイナンス・リース投資	2,453	2,775	3,050
オペレーティング・リース投資	4,810	4,698	4,914
セグメント資産	7,313	7,525	8,182
ROA	4.10%	3.66%	3.49%

18.3期実績

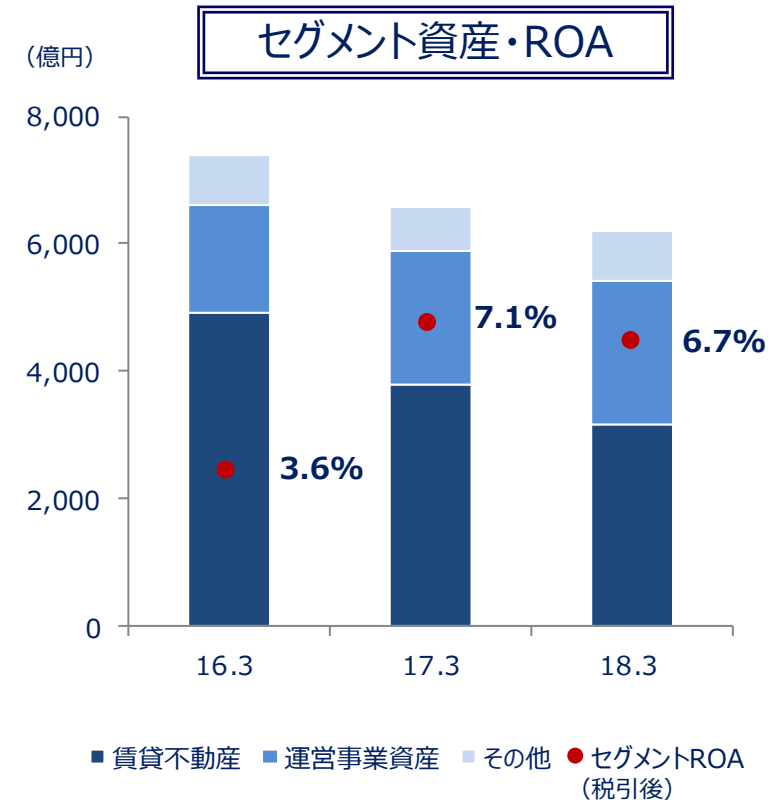
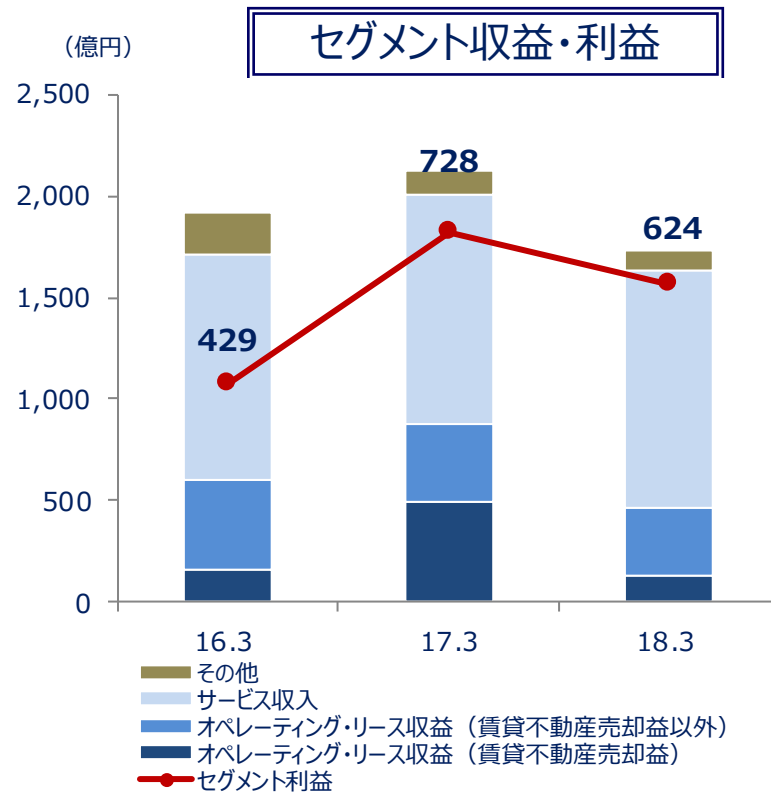
- 自動車の新規実行が増加
- テレマティクスを活用した自動車IoTサービスの進化
- 受変電設備レンタルの最大手淀川変圧器を買収

中期的な方向性

- 競争優位性を活かしシェアを拡大
- 産業構造の変化を新しい事業機会に転換
- エンジニアリングソリューション事業を強化

セグメント別業績（3）不動産

- セグメント利益：624億円 前期比 ▲105億円（▲14%）
 - ✓ 前期の大口キャピタルゲインの影響により減益、サービス収入は堅調に推移
- セグメント資産：6,202億円 前期末比 ▲375億円（▲6%）
 - ✓ 賃貸不動産が売却により前期比では減少するも、第3四半期末からは145億円増加



セグメント別業績（3）不動産

(単位：億円)

	16.3期	17.3期	18.3期	前期比
金融収益	67	23	21	89%
オペレーティング・リース収益	603	882	469	53%
うち賃貸不動産売却益	161	497	130	26%
サービス収入	1,106	1,126	1,161	103%
商品および不動産売上高 他	139	90	79	88%
セグメント収益	1,915	2,121	1,729	82%
セグメント費用	1,546	1,431	1,432	100%
セグメント利益	429	728	624	86%

オペレーティング・リース投資	3,751	2,982	2,470
事業用資産	1,775	1,850	1,955
賃貸資産前渡金	385	186	205
関連会社投資	910	993	867
セグメント資産	7,396	6,577	6,202
ROA	3.62%	7.12%	6.67%

18.3期実績

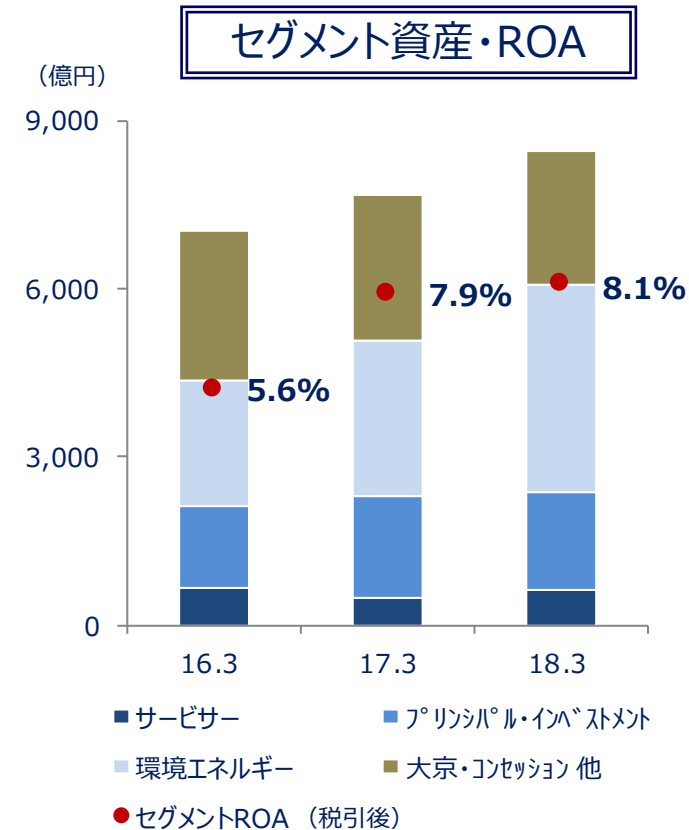
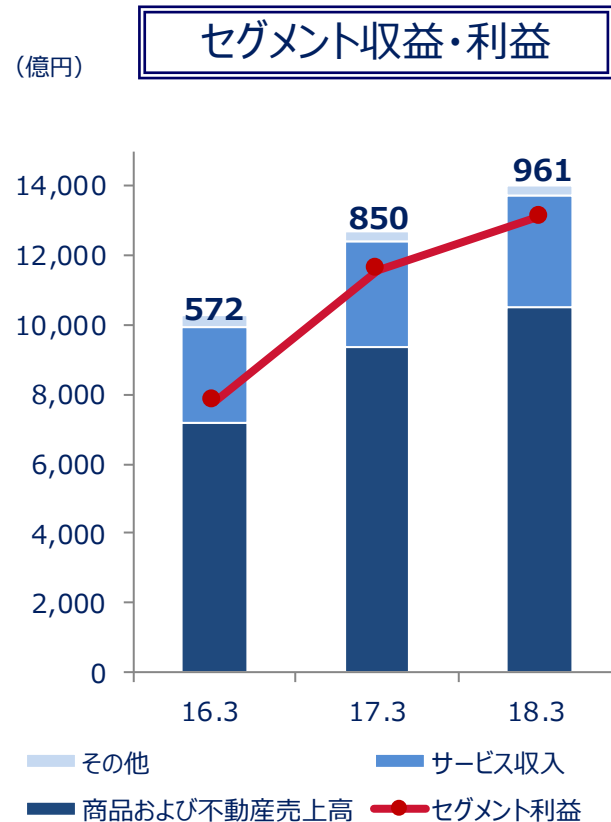
- マーケットの好機を捉え、ポートフォリオの入れ替えを促進
- アセットマネジメント事業からの収益が増加
- 新規運営施設を開業

中期的な方向性

- アセットマネジメント事業を拡大
- 多様な施設運営による専門性の蓄積
- バリューチェーンを生かした新規事業の創出

セグメント別業績（４） 事業投資

- セグメント利益：961億円 前期比 +111億円（+13%）
✓ コンセッションや環境エネルギー事業は順調に増加
- セグメント資産：8,477億円 前期末比 +790億円（+10%）
✓ 環境エネルギー事業において新規投資を実行



セグメント別業績（４） 事業投資

(単位：億円)

	16.3期	17.3期	18.3期	前期比
金融収益	126	107	90	84%
有価証券売却益および受取配当金	103	130	76	59%
商品および不動産売上高	7,189	9,384	10,487	112%
サービス収入	2,772	2,997	3,265	109%
セグメント収益	10,284	12,720	14,023	110%
セグメント費用	9,832	12,243	13,501	110%
持分法投資損益等	121	373	439	118%
セグメント利益	572	850	961	113%

営業貸付金	760	564	481
投資有価証券	717	515	326
事業用資産	1,306	1,877	2,081
棚卸資産	980	1,128	1,015
関連会社投資	1,082	715	1,704
セグメント資産	7,042	7,687	8,477
ROA	5.58%	7.88%	8.12%

18.3期実績

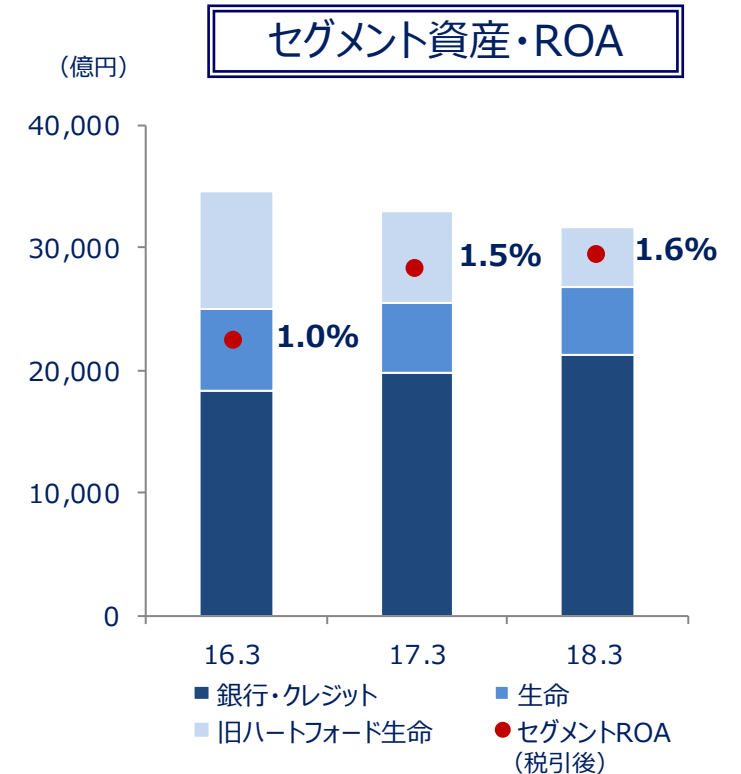
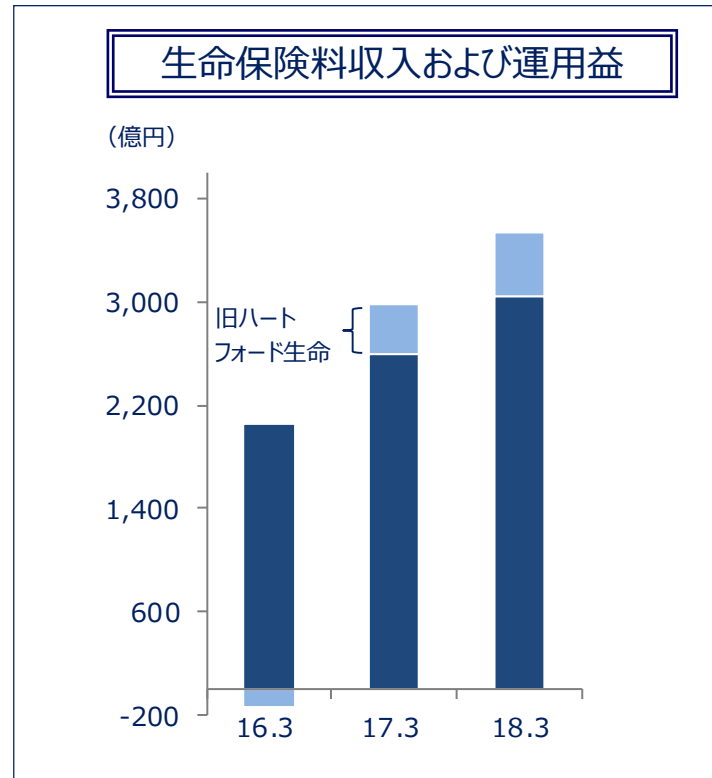
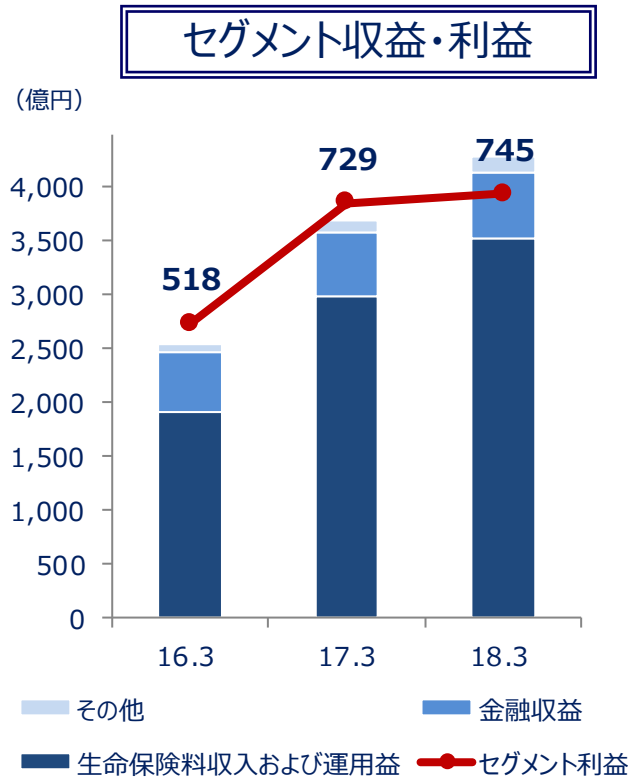
- コンセッション事業からの収益が増加
- 環境エネルギー事業の資産・利益が順調に拡大
- 地熱発電事業会社 Ormatに出資

中期的な方向性

- 再生可能エネルギー事業の海外展開を加速
- 事業投資における手法の多様化とターゲットゾーンの拡大
- コンセッションの対象事業を拡大

セグメント別業績（５）リテール

- セグメント利益：745億円 前期比 +17億円（+2%）
 - ✓ 銀行の金融収益および生命保険料収入が伸長
- セグメント資産：31,745億円 前期末比 ▲1,171億円（▲4%）
 - ✓ オリックス生命の有価証券減少、旧ハートフォード生命のランオフ資産減少の影響
 - ✓ 銀行の貸付金残高は増加



セグメント別業績（５）リテール

（単位：億円）

	16.3期	17.3期	18.3期	前期比
金融収益	553	592	612	103%
生命保険料収入および運用益	1,908	2,979	3,530	118%
サービス収入 他	82	116	145	125%
セグメント収益	2,543	3,687	4,287	116%
セグメント費用	2,033	2,958	3,542	120%
セグメント利益	518	729	745	102%

営業貸付金	14,964	17,187	18,528
投資有価証券	18,936	15,092	12,603
セグメント資産	34,628	32,916	31,745
ROA	0.96%	1.47%	1.57%

18.3期実績

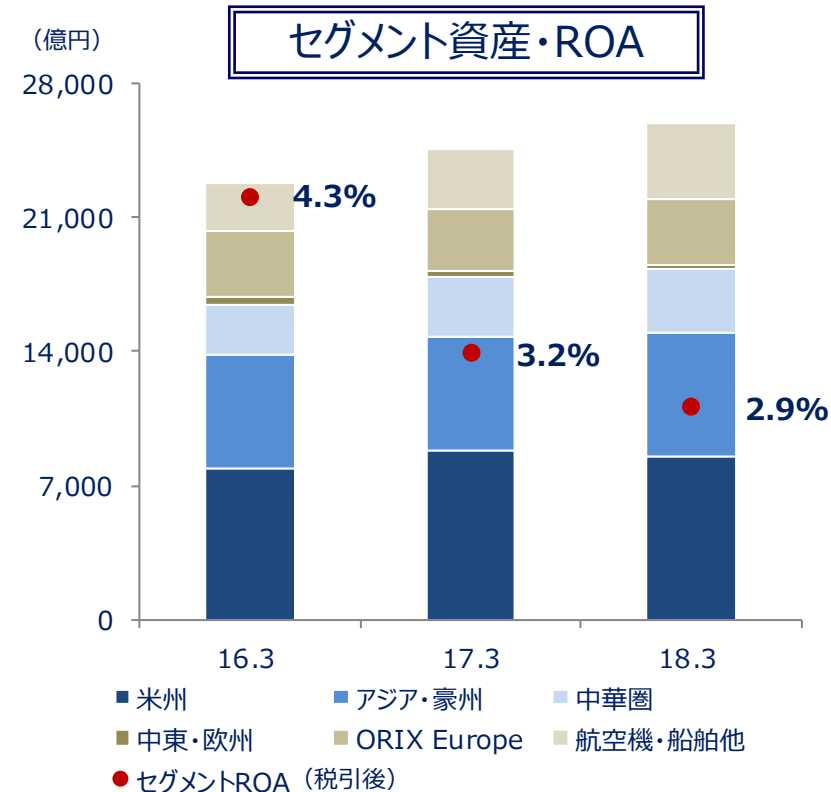
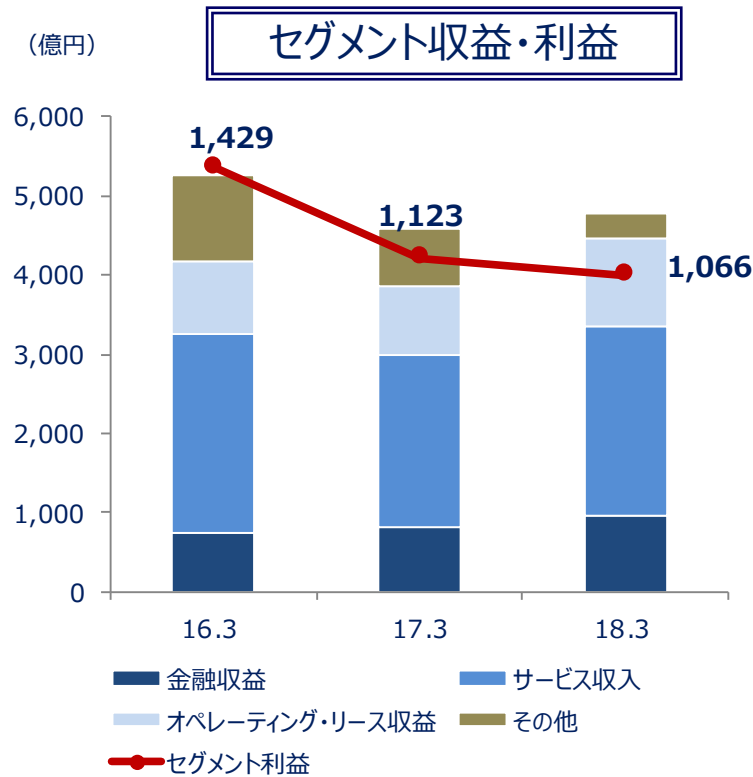
- 生命の保有契約件数が順調に増加
- 銀行の住宅ローン・カードローン残高増加が金融収益増加に寄与

中期的な方向性

- 中堅生保から大手生保へ躍進
- 銀行における新規事業分野の開拓

セグメント別業績（6） 海外

- セグメント利益：1,066億円 前期比 ▲57億円（▲5%、為替影響+52億円）
 - ✓ 航空機・船舶事業、アセットマネジメント事業は堅調に推移
 - ✓ 現地法人の株式売却損およびエクイティ投資先の減損を計上
- セグメント資産：25,947億円 前期末比 +1,405億円（+6%、為替影響▲553億円）
 - ✓ 航空機・船舶事業の資産が増加



*Robeco Groep N.V.は、2018年1月より、ORIX Corporation Europe N.V. (ORIX Europe) に社名変更いたしました

セグメント別業績（6） 海外

(単位：億円)

	16.3期	17.3期	18.3期	前期比
金融収益	750	813	964	119%
有価証券売却益および受取配当金	161	133	175	131%
オペレーティング・リース収益	920	885	1,114	126%
サービス収入	2,501	2,167	2,386	110%
セグメント収益	5,260	4,589	4,774	104%
セグメント費用	4,522	3,868	3,808	98%
持分法投資損益等	690	402	99	25%
うち非支配持分調整	△78	△23	△18	-
セグメント利益	1,429	1,123	1,066	95%

ファイナンス・リース投資	3,510	3,577	3,687
営業貸付金	4,079	4,574	5,201
オペレーティング・リース投資	3,754	4,202	4,910
投資有価証券	3,832	4,659	4,140
関連会社投資	3,057	3,322	3,146
セグメント資産	22,847	24,542	25,947
ROA	4.26%	3.24%	2.88%

18.3期実績

- 航空機事業が順調に拡大
- 米州でのPE投資が増加
- 中国のフィンテック企業に出資

中期的な方向性

- 航空機・船舶事業を積極展開
- アセットマネジメント事業及びPE投資事業の拡大
- 海外拠点の機能拡充と多角化の推進

■海外セグメント資産の内訳

（単位：億円）

地域別	16.3	17.3	18.3	前期末比
米州	7,872	8,793	8,556	97%
アジア・豪州	5,923	5,936	6,435	108%
中華圏	2,603	3,156	3,296	104%
中東・欧州	493	365	205	56%
ORIX Europe	3,409	3,173	3,538	111%
航空機・船舶	2,429	2,969	3,817	129%
その他	118	150	99	66%
合計	22,847	24,542	25,947	106%

*Robeco Groep N.V.は、2018年1月より、ORIX Corporation Europe N.V.(ORIX Europe) に社名変更いたしました

ポートフォリオの3分類

ポートフォリオの3分類

		ファイナンス		事業				投資		
分類	主なリスク	クレジットリスク		運営リスク、事業リスク				マーケットリスク		
	資本負担	低		中～高				高		
		▼		▼				▼		
		国内	海外	環境・インフラ	金融サービス	メンテナンスサービス	その他	債権投資	現物投資	エクイティ投資
セグメント	法人金融サービス	リース 貸付金 フィービジネス					弥生			新規事業
	メンテナンスリース					自動車 レンタル				
	不動産			施設運営	REIT 投資顧問				不動産投資	
	事業投資			環境エネルギー コンセッション				サービサー		PE投資 大京
	リテール	銀行 カードローン、保証			生命 (旧ハートフォード生命)					
	海外		リース 貸付金		アセットマネジメント フーリハン			債券投資	航空機 船舶	PE投資

ポートフォリオの3分類 セグメント利益

(単位：億円)

3分類	サブカテゴリー	16.3期	17.3期	18.3期	前期比
ファイナンス	国内	504	560	734	131%
	海外	323	414	155	37%
	小計	826	973	888	91%
事業	環境・インフラ	218	370	457	123%
	金融サービス	1,158	991	1,220	123%
	(うち、旧ハートフォード生命)	(△ 29)	(43)	(36)	83%
	メンテナンスサービス	429	398	402	101%
	その他	54	56	64	114%
	小計	1,858	1,816	2,142	118%
投資	債権投資	236	234	251	107%
	現物投資	362	616	659	107%
	エクイティ投資	519	570	350	61%
	小計	1,117	1,419	1,260	89%
セグメント利益合計		3,801	4,208	4,291	102%

ポートフォリオの3分類 セグメント資産

(単位：億円)

3分類	サブカテゴリー	16.3	17.3	18.3	前期比
ファイナンス	国内	27,759	29,053	29,698	102%
	海外	8,683	9,013	9,774	108%
	小計	36,442	38,066	39,472	104%
事業	環境・インフラ	4,517	5,059	6,086	120%
	金融サービス	21,437	18,558	16,495	89%
	(うち、旧ハートフォード生命)	(9,572)	(7,396)	(4,970)	67%
	メンテナンスサービス	7,313	7,525	8,182	109%
	その他	1,046	1,027	1,007	98%
	小計	34,314	32,169	31,771	99%
投資	債権投資	5,238	5,291	4,564	86%
	現物投資	7,884	7,620	8,086	106%
	エクイティ投資	5,846	6,423	6,279	98%
	小計	18,969	19,334	18,929	98%
セグメント資産合計		89,724	89,569	90,173	101%

✓ 株主資本使用率※は、A格維持を前提とした範囲でコントロール

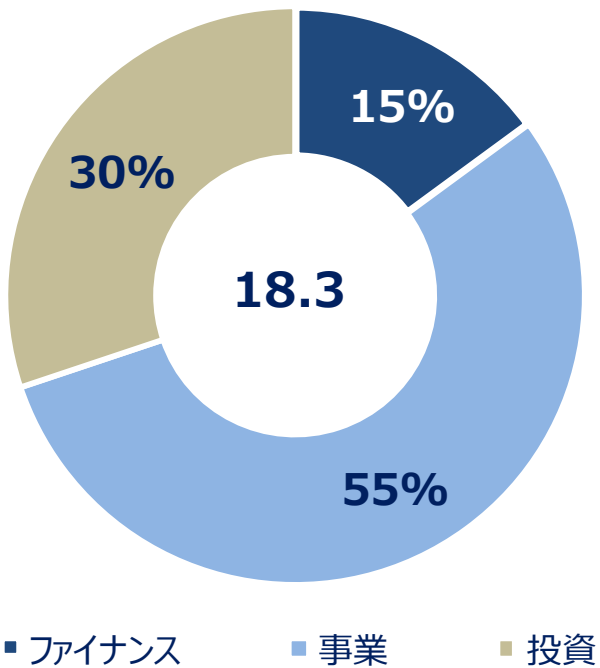
※オリックス社内基準に基づく株主資本使用率（＝リスクキャピタル/株主資本）

株主資本使用率

(単位：億円)

	18.3期
当社株主資本	26,824
使用資本	22,698
未使用資本	4,126
株主資本使用率	84.6%

使用資本の内訳



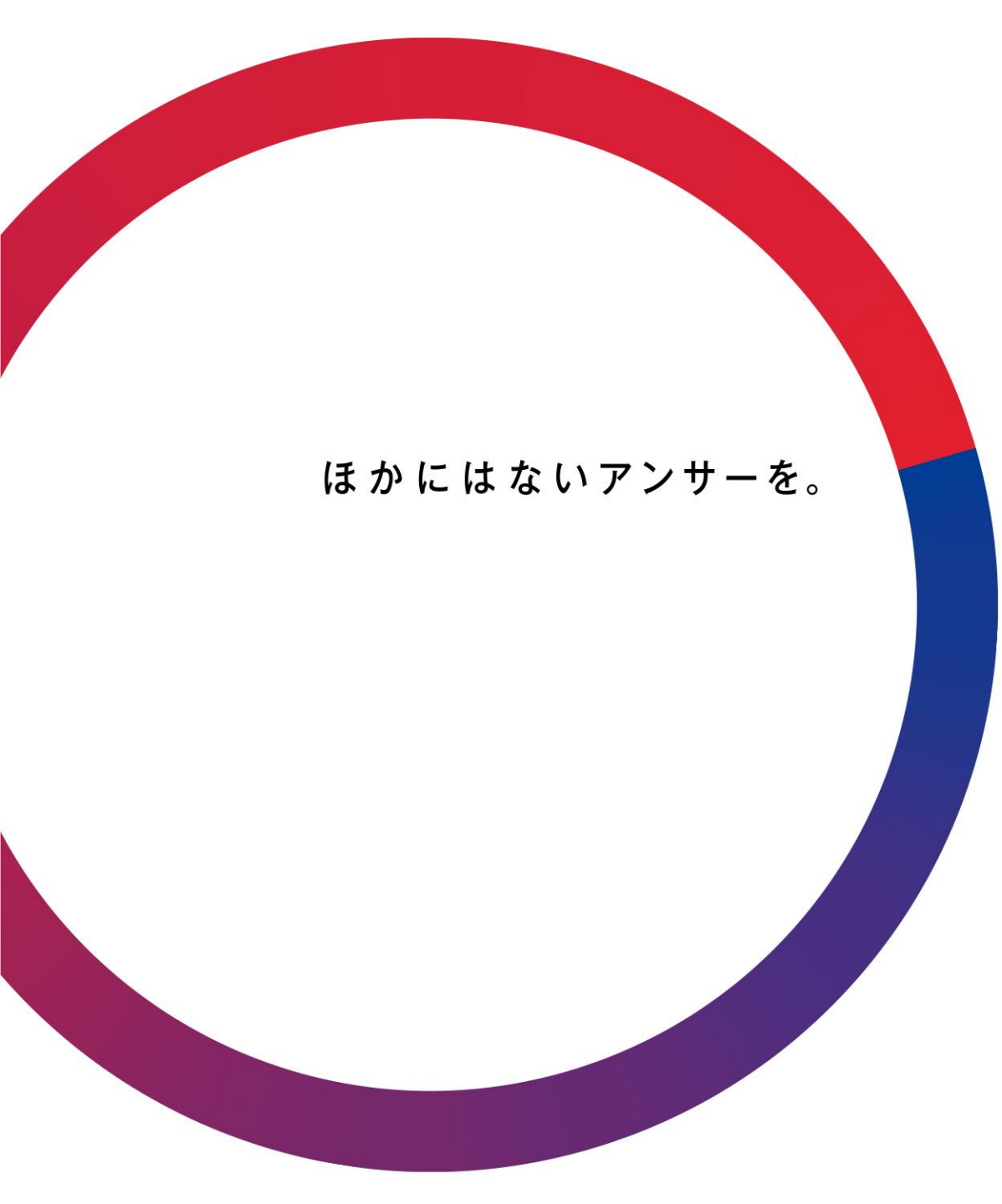
本資料に掲載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に係る見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。

従いまして、これらの見通しのみに全面的に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。実際の業績は、外部環境および内部環境の変化によるさまざまな重要な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となりうることを、ご承知おきください。

これらの見通しと異なる結果を生じさせる原因となる要素は、当社がアメリカ合衆国証券取引委員会（SEC）に提出しておりますForm20-Fによる報告書の「リスク要因（Risk Factors）」、関東財務局長に提出しております有価証券報告書および東京証券取引所に提出しております決算短信の「事業等のリスク」に記載されておりますが、これらに限られるものではありません。

また、ハートフォード生命保険株式会社は、2015年7月1日にオリックス生命保険株式会社と合併し、現在はオリックス生命保険株式会社として引き続きお客さまのご契約をお守りしています。オリックス生命保険株式会社は、The Hartford Financial Services Group, Inc.、またはその関係法人の関連会社ではありません。

なお、本資料は情報提供のみを目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資の勧誘・募集を目的としたものではありません。

A large circular graphic on the left side of the page, composed of a thick ring with a color gradient from red at the top to purple at the bottom.

ほかにはないアンサーを。

オリックスに関する追加情報については弊社ホームページをご参照いただくか、下記までご連絡下さい。

投資家情報

URL: <https://www.orix.co.jp/grp/company/ir/>

IR資料室

URL: <https://www.orix.co.jp/grp/company/ir/library/>

オリックス株式会社 経営計画部

〒105-6135 東京都港区浜松町2-4-1

TEL : 03-3435-3121

FAX : 03-3435-3154